Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency
CASBEE札幌

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE_Sapporo2024v1.0　|使用評価ソフト：CASBEE札幌2024（ver1.0）

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)札幌市中央区大通東4丁目新築工事	階数	5
		構造	RC造
建設地	札幌市中央区大通東4丁目4-18,-20,-46　札幌市中央区北1条東4丁目4-19,-31,-32,-33,-34,-36,-59	平均居住人員	130　人
		年間使用時間	8,760　時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年5月　予定	評価の実施日	2026年8月25日
敷地面積	1,114 ㎡	作成者	
建築面積	995 ㎡	確認日	
延床面積	4,508 ㎡	確認者	

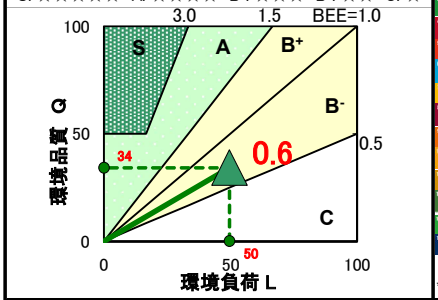
1-2 外観

※ここに外観パースを貼り付けてください。

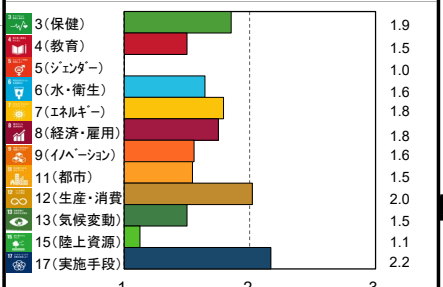
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.6　B－

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

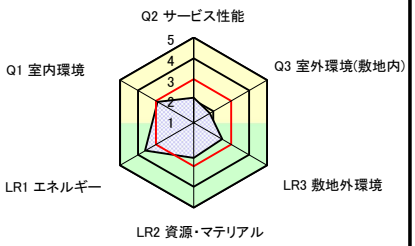


2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果



* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

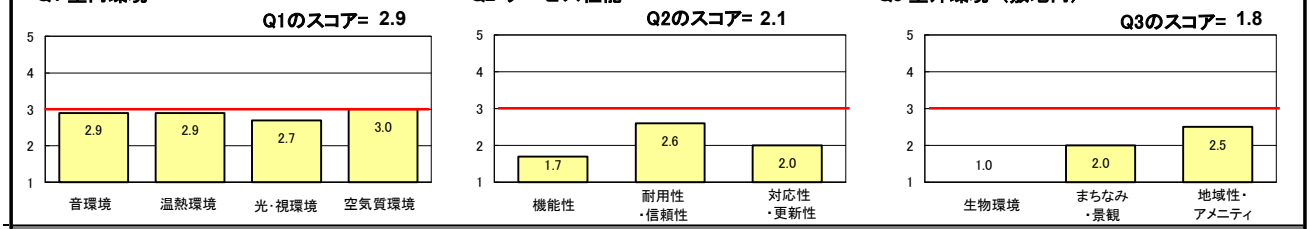


2-4 一次エネルギー消費量の評価

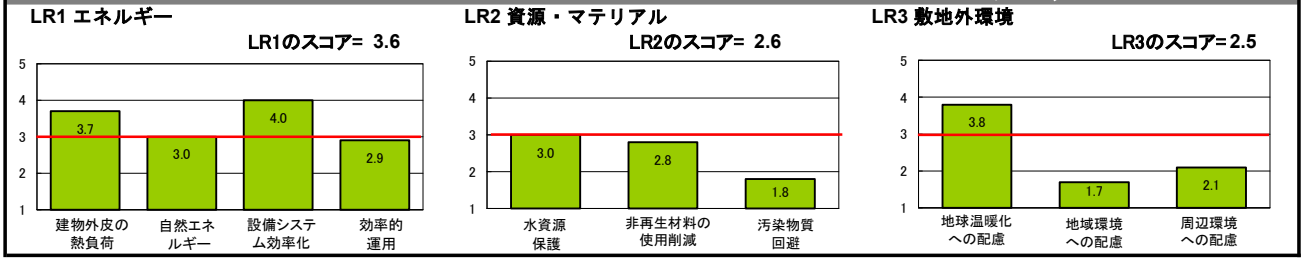
建物全体の[BEI*][BEIm*]	0.70
建物全体の[BEI][BEIm]	0.70
建物全体の[BEI+]	－
ZEB／ZEH-Mランク	ZEH-M Ready

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.3



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0



3 設計上の配慮事項

総合
限られた条件の中で、快適な住環境を目指した。

A 省エネルギー
照明設備にLEDを採用。

B 省資源等
特になし。

C 緑化
特になし。

D 雪処理
特になし。

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	★★★	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE_Sapporo2024v1.0
(仮称)札幌市中央区大通東4丁目　新築工事

■使用評価マニュア CASBEE_Sapporo2024v1.0
■評価ソフト:　CASBEE札幌2024 (ver1.0)

スコアシート　実施設計段階

配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質							2.3
Q1 室内環境				0.40		-	2.9
1 音環境			2.9	0.15	3.0	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル		−	3.0	0.49	3.0	0.50	
1.2 遮音			3.0	0.49	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		−	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		−	-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		−	-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		−	-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		−	1.0	0.02	-	-	
2 温熱環境			1.9	0.35	3.5	1.00	2.9
2.1 室温制御			2.3	0.71	4.6	0.71	
1 室温		−	2.0	0.61	5.0	0.63	
2 外皮性能	省エネ	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当である。	3.0	0.35	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		−	1.0	0.03	-	-	
2.2 湿度制御		−	1.0	0.29	1.0	0.29	
2.3 空調方式		−	-	-	-	-	
3 光・視環境			3.0	0.25	2.6	1.00	2.7
3.1 昼光利用			3.0	0.32	3.6	0.30	
1 昼光率		−	3.0	0.54	3.0	0.50	
2 方位別開口		−	-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備	省エネ	−	3.0	0.46	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			1.0	0.27	3.0	0.30	
1 昼光制御	省エネ	−	1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		−	3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御		−	5.0	0.27	1.0	0.25	
4 空気質環境			3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策			3.0	0.59	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		−	3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気			3.0	0.39	3.0	0.38	

	1	換気量		−	3.0	0.50	3.0	0.33	
	2	自然換気性能		−	-	-	3.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮		−	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					**3.0**	0.02	-	-	
	1	CO_2の監視		−	3.0	0.50	-	-	
	2	喫煙の制御		−	3.0	0.50	-	-	
Q2　サービス性能					_	**0.30**	-	-	**2.1**
1　機能性					**1.3**	0.40	**2.0**	1.00	**1.7**
1.1 機能性・使いやすさ					**1.0**	0.40	**2.0**	0.60	
	1	広さ・収納性		−	-	-	-	-	
	2	高度情報通信設備対応		−	-	-	2.0	1.00	
	3	バリアフリー計画		−	1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					**1.0**	0.30	**2.0**	0.40	
	1	広さ感・景観		−	1.0	0.03	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		−	2.0	0.03	-	-	
	3	内装計画		−	1.0	0.94	1.0	0.50	
1.3 維持管理					**2.0**	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		−	2.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		−	2.0	0.50	-	-	
2　耐用性・信頼性					**2.6**	0.30	-	-	**2.6**
2.1 耐震・免震・制震・制振					**3.0**	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		−	3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		−	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					**3.0**	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		−	3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					**1.4**	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		−	1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		−	1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		−	1.0	0.20	-	-	

4	機械・配管支持方法		−	3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		−	1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				**2.9**	0.30	**1.5**	1.00	**2.0**
3.1 空間のゆとり				**1.6**	0.03	**1.0**	0.50	
1	階高のゆとり		−	2.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		−	1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			−	**2.0**	0.03	**2.0**	0.50	
3.3 設備の更新性				**3.0**	0.94	-	-	
1	空調配管の更新性		−	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		−	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		−	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		−	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		−	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		−	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				_	**0.30**	-	-	**1.8**
1 生物環境の保全と創出		緑化	−	**1.0**	0.30	-	-	**1.0**
2 まちなみ・景観への配慮		緑化	−	**2.0**	0.40	-	-	**2.0**
3 地域性・アメニティへの配慮				**2.5**	0.30	-	-	**2.5**
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		雪処理	−	**3.0**	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		省資源 緑化	−	**2.0**	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	**3.0**
LR1 エネルギー				_	**0.40**	-	-	**3.6**
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI= − 品確法= 等級5 −	**3.7**	0.20	-	-	**3.7**
2 自然エネルギー利用(直接利用)		省エネ	−	**3.0**	0.10	-	-	**3.0**
3 設備システムの高効率化		省エネ	BEI*, BEIm*= 0.70 BEI, BEIm= 0.70 BEI+= − −	**4.0**	0.50	-	-	**4.0**
4 効率的運用に向けた取組み				**2.9**	0.20	-	-	**2.9**
集合住宅以外の評価				**2.2**	0.10	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ	−	2.0	0.40	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ	−	2.0	0.40	-	-	
4.3	非化石エネルギーの導入の拡大		−	3.0	0.10	-	-	
4.4	コミッショニングの推進		−	3.0	0.10	-	-	
集合住宅の評価				**3.0**	0.90	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ	−	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ	−	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				_	**0.30**	-	-	**2.6**
1 水資源保護				**3.0**	0.20	-	-	**3.0**
1.1 節水			−	**3.0**	0.40	-	-	

1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		−	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		−	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				**2.8**	0.60	-	-	**2.8**
2.1 材料使用量の削減		省資源	−	2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源	−	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	−	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	−	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源	−	2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		省資源	−	3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				**1.8**	0.20	-	-	**1.8**
3.1 有害物質を含まない材料の使用			−	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				1.3	0.70	-	-	
1	消火剤	省資源	−	1.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	−	1.0	0.33	-	-	
3	冷媒	省資源	−	2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				_	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮		省資源	−	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				1.7	0.33	-	-	1.7
2.1 大気汚染防止		省資源	−	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	−	1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	−	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		−	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		−	1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	−	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音		−	3.0	0.33	-	-	
2	振動		−	3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		−	3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		−	1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		−	-	-	-		
3	日照阻害の抑制		−	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		−	1.0	0.70	-	-	

		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		―	3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

重点項目評価結果

■使用評価マニュアル： CASBEE_Sapporo2024v1.0　　■使用評価ソフト： CASBEE札幌2024（ver1.0）

1 建物概要

建物名称	（仮称）札幌市中央区大通東4丁目　新築工事	BEE	0.6	BEEランク	B＋
建物用途	物販店,集合住宅,				
延床面積	4,508.1　㎡				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策

最重点項目

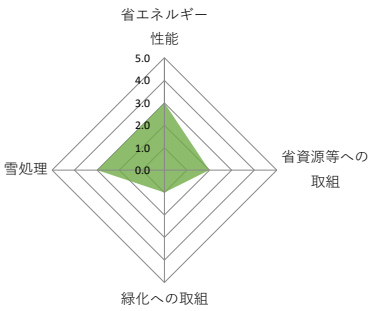
省エネルギー ★★★☆☆

省資源等 ★★☆☆☆

緑　化 ★☆☆☆☆

雪処理 ★★★☆☆

レーダーチャート



★1＝スコア（最低点～最高点）20%以下
★2＝スコア（最低点～最高点）20%～40%以下
★3＝スコア（最低点～最高点）40%～60%以下
★4＝スコア（最低点～最高点）60%～80%以下
★5＝スコア（最低点～最高点）80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー	（最高点 29.4	最低点 8.8）				合計	**20.7点**	／29.4点
Q1 温熱環境	スコア	**3.2**	／4.2	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	**3.0**	／4.0
Q1 光・視環境	スコア	**3.0**	／5.3	LR1 自然エネルギー利用（直接利用）	スコア	**1.2**	／2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	**8.0**	／10.0
				LR1 効率的運用に向けた取組み	スコア	**2.3**	／3.9
B 省資源等	（最高点 23.6	最低点 7.6）				合計	**12.3点**	／23.6点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	**0.6**	／1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	**5.0**	／9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	**0.9**	／2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	**0.5**	／1.8
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	**3.8**	／5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	**1.5**	／4.4
C 緑化	（最高点 15.3	最低点 3.1）				合計	**4.7点**	／15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	**0.9**	／4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	**0.5**	／2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	**2.4**	／6.0					
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	**0.9**	／2.3					
D 雪処理	（最高点 3.0	最低点 0）				合計	**1.0点**	／3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	**1.0**	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	**0.0**	／2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■重点項目の**最高点は、各評価項目でレベル5**で評価された場合の点数
■重点項目の**最低点は、各評価項目でレベル1**で評価された場合の点数